

(事業者向け) 児童発達支援自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも言えない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%			・活動内容によっては狭く感じることもあります。・人数が多い日はスペースが狭くなるので、1グループの人数や動くスペース、スタッフの立ち位置など気を付けています。
	②	職員の配置数は適切であるか	100%			・適切に配置するようにいつも心がけています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	63%	33%		・小上がりになっている和室コーナーを午睡用のスペースにしているため、バリアフリーとは言わないが細心の注意を払っています。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に広く職員が参加しているか	100%			・時間はあまり取れないのが現状だが、個別支援計画の見直しを行い、策定会議などで振り返りを行っています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%			・開所して初めての評価を頂き、これから改善に向けて検討していきます。
	⑥	この自己評価の結果を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100%			・遅くなりましたが、ホームページで公開する予定です。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	50%	50%		・同じ法人内のスタッフではありますが、支援の様子を見てもらい助言を頂いたり相談をし、改善につなげています。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	33%	67%		・以前は、週一程、社内研修を行っていたが現在は日々の業務が忙しく、十分な研修に参加出来ていないのが現状です。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子供と保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	100%			・利用開始前にアセスメントを行い、個別支援計画を立てたり、半年に一度は見直しを行っています。
	⑩	子供の適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	100%			・項目別にわかりやすくチェックができるアセスメントツールを使っています。
	⑪	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	100%			・児童発達支援計画には、発達支援、家族支援について記入しており、地域支援は保育所や幼稚園での担当者会議に参加し、情報共有を行い連携を取っています。これからも連携を深め、計画に入れることが出来たらと思っています。
	⑫	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%			・プログラムの相談や話し合いを短時間ではありますが常に行っています。
	⑬	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%			・限られた道具の中で、工夫しながら行っています。
	⑭	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	100%			・個別支援記録に計画も入れて記入する時に意識できるようにしたり、時間がある時にファイルをみて確認するようにしています。
	⑮	子供の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	100%			・個別活動、集団活動を念頭において計画を立てています。
	⑯	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われた支援の内容や役割分担について確認しているか	100%			・朝、全員がそろってからミーティングを行い、連絡事項、支援内容など周知を行っています。
	⑰	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	83%	17%		・スタッフ全員がそろうのは難しいのですが、話し合ったり、ラインなど連絡ツールを使って周知するようにしています。

	⑱	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%			・個別支援記録を日々付けており、誰が見てもわかるよう気を付けて記入しています。
	⑲	定期的なモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	100%			・半年に一回は必ずモニタリングを行い、記録も取っています。必要に応じて計画の見直しももちろん行っています。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参加しているか	100%			・管理者が現場に入って子どもの状況など把握し、担当者会議で情報共有しています。
	㉑	医療的ケアが必要な子供や重症心身障害のある子どもを受け入れる場合は、主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	100%			・医療的ケアが必要な利用者様に関しては、保護者の方からあらかじめ、連絡先や主治医の先生の名前を聞いて何かあった時に対応できるよう体制を整えるようにしています。
	㉒	保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	100%			・今年入園の子が多く、幼稚園と情報共有の為に担当者会議を行いました。必要があればこちらから相談支援員さんに声をかけて、情報共有できる場を設けたいと考えています。
	㉓	小学校や特別支援学校(小学部)との間で、意向に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	17%	33%		・小学部に入学の利用者様の情報共有はまだ行っていません。
	㉔	他の児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修をうけているか	50%	17%	33%	・管理者は研修に参加させて頂きましたが他のスタッフは参加できていません。これから研修を受ける機会を設けていきたいと思っています。
	㉕	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいがない子供と活動する機会はあるか	17%	33%	50%	・ふわりの夏祭りを開催したときに、コロナ禍ということもあり、少人数の地域のお子さんに来ていただいて、一緒に楽しみました。
	㉖	(地域自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども、子育て会議等へ積極的に参加しているか		50%	50%	・参加出来ていません。利用者様のご意見も頂いているので協議会で発信していけたらと思っています。
	㉗	日頃から子供の状況を保護者と伝えあい、子供の発達状況や課題について共通理解を持っているか	100%			・送迎時やお迎え時、連絡ノートなどでその日の子どもの状況などを伝え、課題や目標を踏まえた上でお話をしております。
	㉘	保護者の対応力向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	33%	67%		・会話の中で相談から、対応の仕方などをお伝えする事もありますが意識的にペアレントトレーニングは行っていません。
保護者への説明責任等	㉙	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%			・限られた時間ではありますが、契約時にお話させていただいております。
	㊀	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	100%			・計画が出来た時に読んでいただいて、補足で説明させていただいております。
	㊁	保護者から子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%			・助言と支援を行っています。すぐに回答出来ないときは、必ず次の利用の時までに適切なアドバイスができるようにスタッフ間で話し合いをしています。
	㊂	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	17%	33%	50%	・コロナ禍ということもあり集まるのが難しいのが現状です。
	㊃	子供や保護者からの相談や申し入れ、苦情に対して、対応の体制を整備するとともに、子供や保護者に周知し、相談申し入れ、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%			・苦情相談窓口を設けており、すぐ対応できるよう体制は整えており、契約の時もお伝えはしています。
	㊄	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子供や保護者に対して発信しているか	83%		17%	・月一回、お便りを発行し写真でお伝えはしていますが、もう少しわかりやすく会報を作ってもいいのではと思っています。

	③⑤	個人情報に充分注意しているか	100%			・気を付けています。
	③⑥	障害のある子供や保護者の意見の疎通や情報伝達の為の配慮をしているか	100%			・意思疎通ができるように気持ちを汲み取り、ジャスチャーなどを使って伝えたりしています。
	③⑥	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		17%	83%	・コロナ禍の為、行えていません。
非常時等の対応	③⑦	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	67%	33%		・マニュアルに沿って避難訓練を行っています。防犯はあまり周知出来てないので、マニュアルを見て確認していきたいです
	③⑧	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他の必要な訓練を行っているか	83%	17%		・年に2回、火事や地震を想定して避難訓練を行っています。
	③⑨	事前に、予防接種やてんかん発作等の子どもの情報を確認しているか	100%			・担会などで詳しくお子様の情報を把握し、情報共有しています。
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%			・虐待防止委員会を立ち上げ、月1回、管理者やリーダーで話し合いの場を設けています。年に2回、議題を上げ研修も行っていきます。
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて組織的に決定し、子供や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で児童発達支援計画に記載しているか	100%			・契約時にお話をさせて頂いております。
	④③	食物アレルギーのある子供について、医師の指示書に基づく対応がされているか	83%	17%		・ひどいアレルギーの利用者様はいない為指示書に基づいた対応はできていないが、今後受け入れは可能で対応もしていきます。
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%			・ヒヤリハットを記入し、周知し共有しています。